



アクテイブ  
マネジメント・  
公明クラブ  
窪野 愛子

3年目となる本市の地域公共交通網形成計画の進捗は

**Q** 平成29年策定の計画書に、地域公共交通の課題について、ネットワーク形成・まちづくりとの連携・利用促進・協働推進と体制強化・広域性の確保が課題との記載がある。維持・活性化への取り組みの進捗と課題を伺う。

**A** バス路線の運行効率化事業では、東山線及び居尻線の利便性向上策の実証実験を行い、路線見直し事業では、桜木地区地域交通協議会を立ち上げ新たなルートを新設するなど、公共交通で課題がある部分について、優先的に事業を行っています。

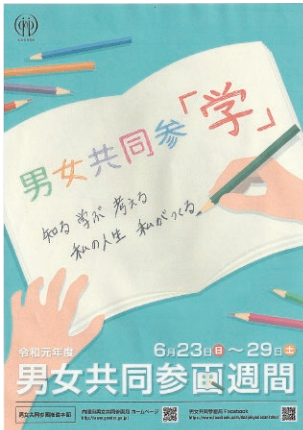
重点施策である人権の尊重及び男女平等の取り組みは

**Q** 学校や家庭、地域、職場等さまざまな場面や各世代の意識改革が基本であり、そのための教育や学習が大変重要であると市長は述べているが、市民の意識改革への取り組みについて伺う。

若年層からの教育、啓発にも取り組んでいく

**A** 本年度は、中学生を対象としたデートDV※防止の講座や男女共同参画推進委員による小学校等への絵本の読み聞かせ出前講座実施の検討など、若年層からの教育、啓発にも取り組んでいきたいと考えています。

※デートDV 交際中のカップル間に起る暴力



至誠の会  
鷺山 喜久

「弥栄かがわ」からの地代猶予を認めた理由は

**Q** 「we+1300」はオープンして一年経過せず地代猶予依頼が始まった。計画段階より先行き心配の声が大きかった。市開発公社は、なぜ未収金が2千83万円余もあるのに猶予をしたのか。



長期計画であれば返済が可能と判断をした

**A** 経営状況の確認および今後の経営計画をヒアリングし、猶予を行うことで経営改善が図られ、将来的に未払い分の返済が可能になると判断し、猶予を行っています。

ストーマ装具の助成を他市町並に増額と拡充を求める

**Q** 人工肛門、人工膀胱設置者は市内で200人前後いて年々増える傾向にある。県の考え方は、助成額は各自自治体の裁量としている。増額と拡充をする考えはあるか。

自己負担額の調査を行い、県に対して働きかけていく

**A** 静岡県のガイドラインを基準として、市の要綱で対象用具や限度額を規定しています。半期に一度、助成申請をしていただくので、その際に、実際の自己負担額等の調査をさせていただきます。その結果をもって、静岡県のガイドラインに規定された限度額が適正価格にあるかどうかなどを精査していただくよう、県に対して働きかけていきます。